



Introduction 1
目次・編集方針 3

1 トップコミットメント

社長メッセージ 5

2 価値創造ストーリー

MCHCグループの変遷とコア技術 11
価値創造モデル 13
 KAITEKI経営の考え方 13
 経営資源の活用・強化 15

3 前中期経営計画(2016-2020年度) APTSIS 20 総括

ポートフォリオ改革の軌跡
(過去の中期経営計画の振り返り) 17
APTSIS 20 総括 19
 MOE 19
 MOS 23
 MOT 24

4 新中期経営計画 APTSIS 25 基盤強化とさらなる成長に向けて

2050年へのアプローチ 25
APTSIS 25 Step1(2021-2022年度) 27
CFOメッセージ 33

Sustainability

CSOメッセージ 35
APTSIS 25 のマテリアリティと新MOS指標 37
サステナビリティマネジメントの強化 43
TCFD提言に基づく報告 45

変革に向けた人材戦略

人事担当役員メッセージ 47
KAITEKI健康経営の取り組み 48
人と組織に関わる取り組み 49

Innovation

CIOメッセージ 51
R&Dの推進と次世代事業への取り組み 52
デジタルトランスフォーメーション(DX)による価値創造 53
コーポレートベンチャーキャピタル活動 55

Governance

特集 | 新社長の選定プロセス 57
取締役一覧 59
コーポレートガバナンス 61
社外取締役メッセージ 69
リスク管理 70
コンプライアンス 72

5 財務・非財務情報

分野別事業概況

サマリー 73
■機能商品分野 75
■素材分野 79
■ヘルスケア分野 83

財務サマリー 87
財務ハイライト 89
非財務ハイライト 91
株主情報 93
連結財務諸表 95
非財務情報 103
 環境性データ/社会性データ 103
 独立した第三者保証報告書 104

会社情報 105
主要な子会社・関連会社 106
主要な事業 107
グローバルネットワーク 108

編集方針

三菱ケミカルホールディングス(MCHC)は、MCHCグループのビジョンと位置付けているKAITEKI実現に向けた企業活動の進捗や見通しのうち、企業活動の判断基準やマテリアリティの特定結果に照らして重要性が高いと考える事項に基づき、過去・現在・未来の財務情報と非財務情報を価値創造ストーリーとして統合的にわかりやすくまとめた統合報告書「KAITEKIレポート」を発行しています。作成にあたっては、国際統合報告評議会の「国際統合報告フレームワーク」を参照しています。より詳細な情報は、MCHCのウェブサイトにて報告していますので、併せてご覧ください。また、詳細な財務情報については、金融庁に提出した有価証券報告書にて、詳細なガバナンス情報については、東京証券取引所に提出したコーポレートガバナンス報告書にてそれぞれご覧いただけます。

報告対象期間

2020年度(2020年4月~2021年3月)、一部2021年度の内容も含んでいます。

報告範囲

MCHCおよびMCHCグループを報告範囲としています。報告範囲が異なる事項については、対象となる報告範囲を明記しています。

会計基準

MCHCは、2017年3月期の第1四半期より指定国際会計基準(IFRS)を任意適用しています。本レポートでの2017年3月期以降はIFRSに基づき、その他数値は、特に記載がない限り日本基準に基づくものです。

MCHCのウェブサイト
<https://www.mitsubishichem-hd.co.jp>

有価証券報告書
https://www.mitsubishichem-hd.co.jp/ir/library/stock_securities_report.html

コーポレートガバナンス報告書
<https://www.mitsubishichem-hd.co.jp/pdf/governance.pdf>